

外貨建一時払保険における「顧客の最善の利益」追求に向けた対応について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、「顧客の最善の利益」の追求に向けて、2025年4月から、ロングドリーム GOLD3（ニッセイ指定通貨建積立利率変動型一時払終身保険）について、以下対応を実施します。

1. 背景

金融庁は、2024年4月3日、「リスク性金融商品の販売・組成会社による顧客本位の業務運営に関するモニタリング結果等について（2023事務年度）（中間報告）」（2024年7月5日最終報告）を公表し、金融庁が行ったモニタリングの結果を基に、外貨建一時払保険の販売・管理等における態勢面において販売会社等に共通すると考えられる課題を指摘しています。

また、同4月3日に一般社団法人生命保険協会は、「市場リスクを有する生命保険の募集等に関するガイドライン」、「金融機関代理店における重要情報シート作成ガイドライン」、「生命保険商品に関する適正表示ガイドライン」を改正し、「顧客の最善の利益」に向けて、留意すべき事項を明確化しています。

2. 当社対応の考え方

当社はこれまで、2017年3月に「お客様本位の業務運営に係る方針」を制定、2022年3月に改定、また、「お客様本位の業務運営」についての取組方針・取組状況を公式ホームページで開示する等、「顧客の最善の利益」に資する対応を進めてまいりました。

今般の外貨建一時払保険への課題指摘についても、ご指摘の内容を真摯に受け止め、「顧客の最善の利益」に資する対応に努めてまいります。

当社が全国の金融機関代理店を通じて販売しているロングドリーム GOLD3（ニッセイ指定通貨建積立利率変動型一時払終身保険）は、より長くご加入いただくことで運用効果が期待できる商品となっており、全国の金融機関代理店とともに、お客様により長くご加入いただくための取り組みをより一層進める観点から、以下対応を予定しています。

3. 当社対応の具体内容

(1) 目標値設定機能*の廃止

「目標値設定機能」については、目標到達後の解約等により、中長期での運用効果や保障メリットを享受しづらい実態となっているため、2025年4月以降の新契約から「目標値設定機能」を廃止します。

*保険契約者があらかじめ指定した目標額に、解約払戻金の円換算額が到達したときに、円建の保険契約に自動的に変更する機能

(2) 販売手数料の改定

金融機関代理店に支払う、外貨建一時払保険の手数料について、お客様の中長期での保有ならびに、金融機関代理店による契約後のアフターフォローを後押しする観点から、2025年4月以降の新契約から、初年度手数料を合計手数料の半分程度とし、次年度以降の比重を高める体系にリバランスする手数料型を新設します。

目標値設定機能の廃止および新手数料型は、今後、金融機関代理店にご案内します。

<当社における「顧客の最善の利益」追求に向けた主な対応>

①想定顧客への適切な販売	○重要情報シート（ひな形）に5年超の中長期の運用期間を確保できる方を、 想定顧客として明記 （2024年10月開始）
②投信等他の金融商品との比較	○リスク・リターン・金融機関毎の平均保有年数等の情報を 金融機関代理店に提供 （2024年4月から順次提供開始）
③販売後のフォローアップ	○長期の運用効果や保障メリットを享受しづらい実態となっている点を踏まえ 目標値設定機能を廃止 （2025年4月以降の新契約から） ○既契約については、目標値設定されている 既契約のリストを金融機関代理店に提供 （2024年4月から順次提供開始）
④販売会社に支払う手数料	○ 次年度以降の比重を高めた新手数料体系 を導入（2025年4月以降の新契約から） ○既存手数料体系は、金融機関代理店が移行に必要な期間を踏まえ、 廃止 （2026年3月末）

なお、グループ各社も含め、現在販売中のその他外貨建一時払保険商品においても、原則、当社方針に合わせた各種対応を実施予定です。

以上

2024-1382G, 広報部